

り、そのうち3枠をエスパニョール、レアル、バルセロナの試合に充て、残り1枠はセビリ

かも全4試合がハイビジョン。リーガファンにとっては熱い1年となりそうです。

▲レアルの試合もちろん毎節見られる。ちなみに現在のところ、リーガの試合が民放で放映されるかは未定とのことだ

【募集】

このコーナーでは読者の皆さんからの素朴な疑問を募集しています。  
〒101-8381 ベースボール・マガジン社 週刊サッカーマガジン編集部「CSI:水道橋」宛て。

2010年ワールドカップ特別連載

在南ア日本大使館  
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol.3

文・写真◎新保 剛

2010年のワールドカップ開幕まで、あと324日。  
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。  
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで  
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!

## ●「南アは世界有数の観光大国である」●



▲ケープタウンにあるアフリカ最南端の喜望峰。歴史の舞台にも数多く登場する絶景が楽しめる



▲南ア最大の自然公園クルーガーランド。キリンの家族が見つめているのは警戒しているから

実は南アも世界有数の自然公園を抱えている。  
ところで、観光客の多くはトラブルに遭わない。理由は簡単だ。信頼できる宿と交通手段があらかじめ用意されている団体ツアーの客が多く、現地ガイドや添乗員が周囲を警戒しているため、被害に遭う可能性が少ないのだ。  
その逆がバックパッカーなどの個人旅行者。空港に到着した直後から危険と隣り合わせになる。ちなみに、同僚や取り引き相手がいるはずのビジネス客も被害に遭いやすい。自由行動の時間が多いためだろうか。  
来年のワールドカップ、安心してサッカーを楽しみたい方は、ぜひ団体ツアーに参加してほしい。不幸にして、自分の希望がツアー内容に合わない場合、出発前にこのコラムを読んで交通手段と宿を十分に研究してほしい。  
南ア観光は登山と似ている。目標が明確で、安全対策が万全なら遭難する(犯罪の被害に遭う)可能性は少ない。きつと素晴らしい経験ができるに違いない。

著者プロフィール ● 一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 [http://www.za.emb-japan.go.jp/index\\_jp.html](http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html)